

第1学年1組 学級活動（1）指導案

令和5年 6月26日（月）第5校時

指導者 高橋 義憲

児童数 26名

1 議題「もっとなかよくなるうのかいをしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

入学して2か月半が経ち、少しずつ小学校生活にも慣れ、全体として学習・生活両面で何事にも意欲を持って活動することができている。友達との関わりも増え、仲よく遊んだり協力したりすることもでき始めている。

学級活動（1）の学習では、これまでに4回の学級会を実施してきた。うち、はじめの3回は「どうぞよろしくの会をしよう」などの議題で、第一段階（司会進行は教師、話し合い+活動）の学級会を、前回の第4回学級会は「雨の日にみんなでできる遊びを考えよう」という議題で、児童も司会や黒板記録のお手伝いをする形で進行にも関わったり、簡単な学級会ノートを用いたりしながら実施した。

自分の意見や考えを発表するための話型や話し合いの流れなどについての理解を深めつつ、学級会の経験を積み重ね始めた段階である。少しずつルールに沿って自分の意見や考えを発表することのできる児童も増えてきている。

（2）議題選定の理由

本議題は、6月に入って初めての席替えを実施したところ、児童から「新しく隣になった友達や同じ班になった友達、それ以外の友達とももっともっと仲よくなれるようにしたい」という旨の声があったため、選定されたものである。他にも「1学期がんばったねの会をしよう」などの議題の候補が挙がっていたが、今回は本議題が最もふさわしいタイミングとして児童によって選ばれた。

会の中では、いろいろな友達と関わりを深め、もっと仲よくなるためにどんなゲームをするとよいか、どんな工夫をするとよいかを考えることができるようにする。また、話し合って決まったことを実践する活動を通して、よりよい人間関係を築くとともに、自分たちでよりよい学級生活をつくっていかうとする自治的能力を育てていきたい。

3 研究主題との関わり

<p>研究主題</p> <p>心豊かに生きる</p> <p>～より良い人間関係を築く力の育成～</p>

目指す児童像とつきたい力及び目指す児童像に迫る手立て

【目指す児童像】

計画・司会・進行	発表	聞く
教師の進め方をお手本にしながら、話し合いの進め方に沿って進行することができる子	話し合いの約束に沿って自分の意見を言うことができる子	話し合いの約束に沿って友達の意見を聞き、合意形成を図ることができる子

【つきたい力】

計画・司会・進行	発表	聞く
話し合いの進め方に沿って学級会を進行する	話し合いの約束に沿って自分の意見を言う	話し合いの約束に沿って友達の意見を聞き、合意形成を図る

【目指す児童像に迫る手だて】

<計画・司会・進行>

- ・1学期は教師による司会・進行を行うなど、段階的に役割を担うようにすることで、個人差の大きい1年生児童にも無理なく進行ができるようにさせる。それにより、達成感や自信をつけさせる。
- ・細かい進行台本を用意し、リハーサルを行って見通しをもって進められるようにする。

<発表>

- ・話し合いの約束を大型モニターで提示して、常に確認できるようにする。また、個人の学級会ノートにもプリントを貼っておく。
- ・話しやすい雰囲気づくりや意見を言う心構えをつくるために、状況に応じて2、3人の小グループで相談する時間をとらせる。

<聞く>

- ・発言者と自分との意見の相違を意識しながら話を聞くようにさせる。
- ・友達の発言中は口を挟まないなど、普段から聞く・話すときの約束を大切にす。特に、相手の意見を否定する発言は認めず、温かい雰囲気の中で話し合いができるよう指導助言する。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

5 学級全員の事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】（評価方法）
6月19日 （月） 朝の会	・議題、提案理由、話合いのめあてを知る。	・議題の内容を理解し、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。	◎学校生活をより楽しくするために、「もっとなかよくなるのかい」への見通しをもち、意欲的に準備に取り組もうとしている。 【主体的に取り組む態度】（観察）
6月20日 （火） 朝の会	・学級会ノートに自分の考えをメモする。	・提案理由やめあてに沿った意見になるようにする。	
6月22日 （木） 朝の会	・議題に対する意見を出す。	・出された意見について共通理解ができるようにする。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解することができる。
- ・いろいろな友達ともっと仲よくなるための活動や工夫を考えることができる。

(2) 児童の活動計画

だいぢ かい 1ねん1くみ たのしいがっきゅうかい かつどうけいかくしよ						
はなしあうこと	も、とてほかよくたろうのかいをしよう					
だしたひと	さん					
だしたわけ	くらすにもおれてきてし、せまがえもして、あてらしいともだちもできてきました。だからもつといろいろはみとも、もつともつとほかよくたれはらしいひとあもつてからです。					
はなしあいのめあて	みんながもつとほかよくたれるようたげえむをかんがえよう。					
きまっていること	6/30(きん)の2じかんめに きょうしつでやる。 げえむは2つ					
しかいグループ	しかい	-----	こくばん きろく	-----	ノート きろく	
はなしあいのじゅんじよ	じかん	きをつけること				しりょう
1 はじめのことば	1分	• おおきほこえで、ほっきりという。(しかい)				がまきゅうかい ノート
2 はじめのうた	1分	• げんきよくうたう。				
3 しかいグループのしょうかい	1分	• ひりずうやくわりとほまえ、めあてをほっきりしようかいする。				
4 はなしあうことのため	1分					
5 だしたわけのため	1分	• おおきほこえで、ほっきりという。(だしてはみ)				
6 はなしあいのめあてのため	1分	• しかいのめあてにつづいて、ぜんいんでこえにたていう。				
7 きまっていることのため	1分					
8 はなしあうこと						
① どんほげえむをするか	13分	• こくばんにたんざくをせいりしてほっておき、「くらべあう」からはほしあうようにする。 • たしてわけせはほしあいのめあてにそつたものはどれかをかんがえてもらう。				
② ほかよくたるためのよいほうほう	13分	• いけんをいってもらったら「ありがとうございしました」という。(しかい) • どんほほうほうがあるかをかんがえてもらう。 • どんほけかりがあるかよいかをかんがえてもらう。				
③ どんほけかりがあるか	4分					
9 きまったことのはっぴょう	1分					
10 ふりかえり	5分	• びびんやともだちのがまばらにところをみつける。				
11 せんせいのはなし	1分					
12 おわりのことば	1分	• おおきほこえで、ほっきりという。(しかい)				

(3) 評価

- ・意欲的に自分の意見を発表しようとしている。【態】(発言・観察)
- ・話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。【知・技】(発言・観察)
- ・話合いのめあてに沿った意見を発言しようとしている。【思・判・表】(発言・観察)

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
6月27日 (火) 朝の会	・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。	・会の見通しを持てるようにする。	
6月30日 (金) 2校時	・もっと仲よくなる会の ・会終了後、感想を記入する。	・自分の取り組みを振り返るとともに、友達によかったところについても認められるように助言する。	◎もっとなかよくなる会の目的を意識し、友達と楽しみながら実践している。【思・判・表】(観察、振り返りカード)